

基本構想策定に至る経緯

八鹿文化会館及び八鹿公民館は、平成 26 年度に実施した耐震診断で、大地震動により倒壊する危険性がある施設として、早急な改修の必要性を指摘されました。

現施設を引き続き使用する場合は、耐震補強工事だけでなく、老朽化によって雨漏りやひび割れ、鉄筋の腐食等が生じているため、改修工事も併せて必要となります。耐震補強・改修工事費と新築工事費の概算工事費を試算した結果は下表のとおりです。

〔概算工事費〕

	耐震補強・改修工事費	新築工事費
八鹿公民館	約 4 億円	約 5 億円
八鹿文化会館	約 20 億円	約 23 億円
合計	約 24 億円	約 28 億円

耐震補強と改修工事を行えば、当面の間は使用することが出来ますが、現施設は築後 41 年を経過しており、一般的に 60 年と言われているコンクリート建物の寿命からすると、近い将来には必ず建て替えが必要な時期が訪れます。

文化会館及び公民館は養父市総合計画を実現するうえで必要な施設です。耐震補強・改修工事費と新築工事費の多少だけでなく、空調設備や照明設備、音響設備等の老朽化による維持管理費用の増加なども考慮した長期的な費用対効果等の総合的な観点から判断し、平成 26 年度、**耐震改修ではなく、新たな施設建設を市の整備方針**とし、平成 27 年度に議会への説明を経て、平成 28 年度に『基本構想』を策定することとしました。

建設する施設の基本的な考え方を示す『基本構想』の策定にあたり、平成 28 年 6 月に市民と学識者による「養父市文化会館等建設基本構想策定委員会」を設置し、協議を重ね、『基本構想素案』が答申されました。

答申された素案を基に、広く皆様からのご意見をいただくため、パブリックコメントを実施し、市の基本構想を策定していきます。

今後の予定

皆様のご意見をいただき策定する、養父市文化会館（仮称）建設基本構想を踏まえ、具体的な施設構成や規模、管理運営方針をまとめた養父市文化会館（仮称）建設基本計画の策定を行います。引き続き、基本設計・実施設計を行い、建築工事を順次行う予定です。工事完了は平成 32 年度とし、平成 33 年度の開館を目指します。

[今後の予定]

実施項目	予定年度
建設基本構想	平成 28 年度
建設基本計画	平成 29 年度
建設基本設計・実施設計	平成 30 年度
建築工事	平成 31 年度・平成 32 年度
開館	平成 33 年度